

夏の終わりに小さな旅に出かけよう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1)ものごとを考えるときに、いつもと少しちがう場所に自分自身を置いて考えると、自分でもハッとと思うくらいざん新な考えを思いつくことがある。
- (2)折角の夏休みなので、夏の終わりの一日をつかって小さな旅に出ることをおすすめする。
- (3)今回は、小さな旅の方法を考える。

2. 目的をもって出掛けよう

- (1)東京の繁華街に遊びに行ったり、アイドルのコンサートにお化粧をして出かけることは、おすすめしない。貴重な人生の一日を過ごすに値するような目標をもって旅に出かけて欲しい。
- (2)小さな旅の目的や日程が決まったら、保護者の方に十分説明して、許可を頂くこと。許可してもらえない場合は、絶対に行かないこと。どうしても行きたければ、20歳を過ぎてから自分の責任でいくこと。それまで、がまんすること。
- (3)日程を詳細に検討してできるだけ無理はしないこと。危険なところには絶対に近寄らないこと。時々、保護者に電話連絡を入れること。
- (4)人と会うときは、礼を尽くすこと。時間をつくって会って頂いた方には、礼状を必ず出すこと。友だちになった人にも、時々手紙を出すことで友情が深まる。
- (5)大事なことは、メモしたり、写真に撮らせて頂くこと。帰宅後、十分整理しておくこと。

3. おわりに

- (1)小さなノートを一つ用意して「私の旅日記」を簡単な形でもいいから記録し続けると一生の宝物となる。
- (2)保護者の許可を得られる範囲内で、折にふれ「小さな旅」に出かけることも、大事な勉強の一つ。無理のない範囲でチャレンジしてみよう。
- (3)小さな本を一冊もっていくと、待合い時間を有効に過ごせます。

